

■下村観山 日本画家。若くして近代日本画の方向を示す作品。苦難の末に日本美術院を再興、在野精神を貫いた。

しもむらかんざん

明治6年政変 1873＝ 和歌山市に生まれる。家は代々、紀州徳川家のお抱え能楽師であったが、明治維新後、父は篆刻や牙彫を業としていた。

明治14年政変 1881＝ 8歳：一家が上京、

新体詩抄・・1882＝ 9歳：

＿はじめ藤島常興、

＿ついで狩野芳崖について絵を学び、北心斎東秀の号を名乗って、少年時から天才を噂された。

＿その後、橋本雅邦につき、

帝国憲法発布 1889＝16歳： 東京美術学校に入学。

足尾鉍毒始・ 1891＝18歳：

日清戦争始・ 1894＝21歳： 卒業と同時に同校助教授に任ぜられるが、

子規句歌革新 1898＝25歳： \*岡倉天心が美術学校を辞して日本美術院を創立するに際し、橋本雅邦、横山大観らとともに母校を退き、美術院正員となる。以来、日本美術院が日本絵画協会と連合して開催した共進会に、洋風の陰影法と色彩感覚をとり入れた「闇維」、

Bushidou・・1899＝26歳： 大和絵研究に基づく「修羅道絵巻」、

ビアノ国産化・ 1900＝27歳： いわゆる朦朧体の「大原の露」など、近代日本画の方向を暗示する作品を発表する。

日比谷公園・ 1903＝30歳： ふたたび東京美術学校教授となり、文部省留学生として渡欧。留学中は主としてロンドンで、ラファエル前派などの模写にとりくみ、洋風の写実における色彩の方法、人物像における表情などを研究して、

日露戦争終・ 1905＝32歳： 帰国。

満鉄発足・・1906＝33歳： 美術院の茨城県五浦への移転に従う。

韓国反日暴動 1907＝34歳： \*第1回文展に際して審査員に選ばれ、自らも「木の間の秋」を出品、声価を得る。

アヲキ創刊・ 1908＝35歳： 国画玉成会「大原御幸」、

伊藤博文暗殺 1909＝36歳：

韓国併合・・1910＝37歳： 第4回文展「魔障図」、

明治天皇没・ 1912＝39歳：

第一次大戦始 1914＝41歳： \*長く解散状態にあった日本美術院を、横山大観、安田靉彦らと苦難の末に再興、「白狐」を出品。

21ヶ条要求・ 1915＝42歳： 続く第2回展には「弱法師」を発表。

ロシア革命・ 1917＝44歳： 帝室技芸員に任ぜられる。

本格政党内閣 1918＝45歳：

ベルサイユ条約・ 1919＝46歳： 帝国美術院会員に推されたが辞し、在野精神を貫く。

大正中期以降の秀れた作品としては、

原敬首相暗殺 1921＝48歳：

水平社結成・ 1922＝49歳： 第9回院展「天心先生」の他、

「維摩默然」やモナ・リザの顔を模した「魚籃観音」などがある。

金融恐慌・・1927＝54歳：

海軍軍縮条約 1930＝57歳： 没した。